

～我が事として捉える防災意識の醸成～

## 1 目的

災害の激甚化に伴い、住民の命を守るための警戒避難体制強化が課題となっています。長野県では、地域防災力を向上し、土砂災害・水害を「我が事として捉える防災意識」の醸成を目的に、砂防ボランティアの皆さんを”赤牛”先生(※)として防災教育を実施する公民館等へ派遣する事業を行います。

(※)赤牛先生…各地に語り継がれる「赤牛伝説」は、その地域特有の災害への忠告であるとの学術論文を参考に、防災教育の講師を”赤牛先生”と呼ぶ。(長野県立歴史館長 笹本正治氏の論文参照)

## 2 事業内容

- 赤牛先生は、住民の内発的な動機付を目指した防災教育を実施します。
- あらゆる世代の住民を対象とし、継続的な防災教育の実施に貢献します。
- 副次的な効果として、地域特性に配慮した防災訓練や、地域が主体の地区防災マップ、災害時住民支え合いマップ等の作成促進への波及も期待します。

### 【講義内容の例】

- 防災気象情報の正しい理解と避難のタイミング
- 土砂災害啓発、地域の災害伝承、災害発生事例紹介
- 地区防災マップの利活用方法、防災訓練の助言 等

